

平成17年度教育研究業績書

氏名 柳田 征司

	1966年3月広島大学大学院文学研究科(国文学研究科)博士課程単位取得満期退学
取得学位	文学修士
所属学会	国語学会(理事)・全国大学国語国文学会(評議員)・訓点語学会・近代語学会・日本語語源研究会(編集委員長)
現在の専門分野	国語学
研究課題	日本語の歴史

【研究上の特記事項】

○日本学術振興会の科学研究費(基盤研究(C))(平成17年度から平成19年度までの3年間)に採択され、1400千円の交付を受けて、研究課題「抄物目録の完成」に従事した。○科学研究費(基盤研究(B))「五山禪宗寺院に伝わる典籍の総合的な調査研究—建仁寺両足院所蔵本を中心に—」(研究代表者、独立行政法人国立博物館京都国立博物館赤尾栄慶、平成16年度から平成19年度までの4年間)の研究分担者として調査・研究に従事した。○日本語学会の理事として学会の運営に勤めた。○全国大学国語国文学会の評議員を勤めている。○日本語語源学会の機関誌編集責任者を勤めた。○高山寺典籍文書綜合調査団の団員として、調査・研究に従事した。

【教育上の特記事項】

○奈良大学大学院国文学研究科の院生3名を国際日本文化研究センターに同道し、古文献の調査研究の実際を指導した。
○奈良大特論を担当し、「日本の方言」と題して講義し、併せて展示会を行った。

【社会的活動】

○財団法人石川記念文化事業財団お茶の水図書館の依頼を受け、セミナーの講師を2回勤めた。
○新村出記念財団の評議員として、評議会の司会を勤めた。
○阪本龍門文庫の理事として文庫の経営に勤めた。
○水煙俳句フェスチバル2005in奈良において「抄物研究余滴」と題して講演した。

【学内活動】 (学内職歴を含む)

学生指導委員会委員(委員長代行)
文学部教務委員

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1『築島裕博士傘寿記念国語学論集』	共	2005年 10月	汲古書院	「梅印元冲講智仁親王聞書『蒙求聞書』」(575~595p)を執筆し、宮内庁書陵部蔵『聽書抜書類』に収められた抄物の国語資料としての資料的性格を明らかにした。
2『小林芳規博士喜寿記念国語学論集』	共	2006年 3月	汲古書院	「有情物の存在を表す「アリ(アル)」「ヲリ(オル)」「キル(イル)」」(102~122p)を執筆し、人などの有情物の存在を「アル」で表現するはどのような場合で、どのような原理によっているかを明らかにした。
3				
4				
5				
(学術論文)				
1『万葉集』の非単独母音型字余り(上)(下)	単	2005年 10月・11月	『国語国文』74(10)74(11)	『万葉集』に見られる字余り句のうち、句中に単独母音が存しないにもかかわらず字余りとなっている例を100例と認定し、それらの字余りがなぜ許されているのかについて筆者の解釈を示した。
2				
3				
4				
5				
(学会発表)				
1				
2				
3				
4				
5				
(その他)				
1〔翻刻〕天理大学附属天理図書館蔵『於雲沢蒙求聞書』	共	2006年 3月	『奈良大学紀要』34	天理大学附属天理図書館蔵『於雲沢蒙求聞書』を大学院生と共に翻刻した。
2				
2『日本語の現在』	共	2006年 3月	勉誠社	「日本語の音韻」(164~176p)を担当し、歴史を踏まえて現代日本語の音韻について筆者の解釈を述べた。
4				
5				